

男女共同参画に関する町内会・自治会
アンケート調査
—調査結果報告書—

■町内会・自治会対象調査■

(未定稿)



令和4年3月
横須賀市

目次

はじめに	1
I 調査の実施方法等	3
II 調査結果の表示について	3
III 調査結果の概要	4
IV 集計結果	5
1 町内会・自治会について	5
(問1) 町内会・自治会の規模、回答者の性別と年代	
(問2) 役員数、選出方法	
2 地域の方への女性の参画について	8
(問3) 地域での意思決定の方への女性の参画	
(問4) 意思決定の方で積極的に女性が関わる必要がある理由	
(問5) 積極的に女性が関わる必要ないと考える理由	
(問6) 地域活動や行事実施における、性別役割分担	
(問7) 地域活動や行事運営の意思決定の場面で女性の関わる必要性	
3 防災分野への女性の参画について	15
(問8) 防災分野への女性の参画に必要な取り組み	
4 多様な性について	16
(問9) 会合等で、LGBTや多様な性について話題に上がったことがあるか	
(問10) 「男女共同参画」や「多様な性」に関する講座の開催について	
■ 自由記入欄への記載内容	18
■ 調査用紙	26

はじめに

横須賀市では、誰もが性別に関わらず個人として尊重され、あらゆる分野における活動に男女が協力し、互いに個性と能力を発揮し、その利益を享受できる社会を実現することを目的とし、平成13年（2001年）12月に横須賀市男女共同参画推進条例（以下「条例」という。）を制定しました。

さらに、この条例に基づき、男女共同参画の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、横須賀市男女共同参画プランを策定し、さまざまな取り組みを行ってきているところです。

現在は、平成30年度から令和4年度（新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度から1年期間延長されました）を計画期間とする「第5次横須賀市男女共同参画プラン」（以下「第5次プラン」という。）の実施期間中で、政策・方針決定過程への女性の参画促進やワーク・ライフ・バランスの推進、男女共同参画社会の形成を阻害する重大な課題でもあるDV等を根絶する環境づくりなどに、3つの取り組みの方向性を掲げ、7の施策方針のもと、65の事業により推進しています。

今回実施した「男女共同参画に関する町内会・自治会アンケート調査」は、第5次プランの施策方針の一つである「政策・方針決定過程への女性の参画推進」の中で、「2 町内会・自治会における女性役員の割合」について、達成状況を確認することと、町内会・自治会の活動、現状、問題点等を把握し、次期プラン（（仮称）第6次横須賀市男女共同参画プラン）の基礎資料とするために実施したものです。

この調査を踏まえ、男女共同参画施策について検討し、より本市の男女共同参画が推進するよう取り組んでいきます。

令和4年（2022年）3月

横須賀市市民部人権・男女共同参画課

重点目標と施策方針一覧

重点目標Ⅰ 誰もが活躍できる環境づくり

施策方針（１）政策・方針決定過程への女性の参画促進

（２）女性の活躍推進

（３）ワーク・ライフ・バランスの推進

重点目標Ⅱ あらゆる場面における男女共同参画の推進

施策方針（４）暮らしやすい社会の意識づくり

（５）誰も孤立させない社会に向けた支援

（６）家庭・地域・学校における男女共同参画の推進

重点目標Ⅲ 暴力のない社会づくり

施策方針（７）DV等を根絶する環境づくり支援

I 調査の実施方法等

調査の実施方法等

- (1) 調査対象
 - ・令和3年7月1日現在の横須賀市内の町内会・自治会 371団体
- (2) 調査の実施主体
 - ・横須賀市
- (3) 調査の配布・回収
 - ・メール便による配布、郵便による回収
- (4) 調査期間
 - ・令和3年7月28日(水)～8月31日(火)
- (5) 回収数(回収率)
 - ・283件(76.3%)

II 調査結果の表示について

- ・この調査報告書に掲載している数値は四捨五入の端数処理をしているため、合計が100%とならない場合があります。
- ・数値データには無回答は含めていません。

Ⅲ 調査結果の概要

1 町内会・自治会について

- (1) 町内会・自治会の規模（問1）
 - ・「100世帯以上500世帯未満」が最も多く、これに「500世帯以上1,000世帯未満」「50世帯以上100世帯未満」が続いています。
- (2) 役員数、選出方法（問2）
 - ・男性は「会長」「副会長」の割合が高く、女性は「会計」「部会長」の割合が高くなっています。
 - ・選出方法はどの役職においても「推薦」が最も多く、これに「互選」が続いています。
 - ・女性役員（会長、副会長、部会長の合計）の割合は※30.3%でした。

※第5次プランの目標値「町内会・自治会における女性役員（会長・副会長・部会長の合計）割合30%」

2 地域の場合への女性の参画について

- (1) 女性だけの部会の有無（問3）
 - ・女性だけの部会が「ある」と回答した町内会・自治会は49.2%でした。
- (2) 地域的意思決定の場合への女性の参画（問4）
 - ・「必要だと思う」と回答した町内会・自治会は87.7%でした。
- (3) 地域活動や行事における性別役割分担（問5）
 - ・性別で役割を分けていることが「ある」と回答した町内会・自治会は14.4%でした。
- (4) 地域的意思決定の場合に女性が参画しやすくなるための取り組み（問6）
 - ・「住民に積極的に呼びかける（回覧板、掲示板、会議の場での呼びかけなど）」が最も多く、これに「住民参加の会議や役員会などの開催日時について考慮する」「男女共同参画に関する学習の場を設定する」が続いています。

3 防災分野への女性の参画について

- (1) 自主防災組織の女性役員（問7）
 - ・自主防災組織に女性役員が「いる」と回答した町内会・自治会は73.8%でした。
- (2) 防災分野への女性の参画に必要な取り組み（問8）
 - ・「地域の防災リーダー育成の講習会への女性の参加を働きかける」が最も多く、これに「震災時避難所ごとに開催している避難所運営委員会（会議）への女性の積極的な参加をうながす」「行政などが防災分野での女性の参画について啓発・周知する」が続いています。

IV 集計結果

問1 はじめに貴町内会・自治会、回答される方についてお答えください。

「200世帯以上、500世帯未満」が、全体の38.1%と最も多く、これに「500世帯以上、1000世帯未満」(23.5%)、「100世帯以上、200世帯未満」(18.9%)と続いています。

町内会・自治会の規模（世帯数）

50世帯未満	15団体	5.3%
50世帯以上、100世帯未満	24団体	8.5%
100世帯以上、200世帯未満	53団体	18.9%
200世帯以上、500世帯未満	107団体	38.1%
500世帯以上、1,000世帯未満	66団体	23.5%
1,000世帯以上	16団体	5.7%

※「記入なし」 2団体

調査票回答者の性別

男性	239団体	89.8%
女性	27団体	10.2%

※「記入なし」 17団体

調査票回答者の年代

30代	1団体	0.4%
40代	8団体	3.0%
50代	21団体	7.9%
60代	69団体	25.9%
70代	151団体	56.8%
80代	16団体	6.0%

※「記入なし」 17団体

問2 役員の数等（令和3年8月1日現在）についてお答えください。

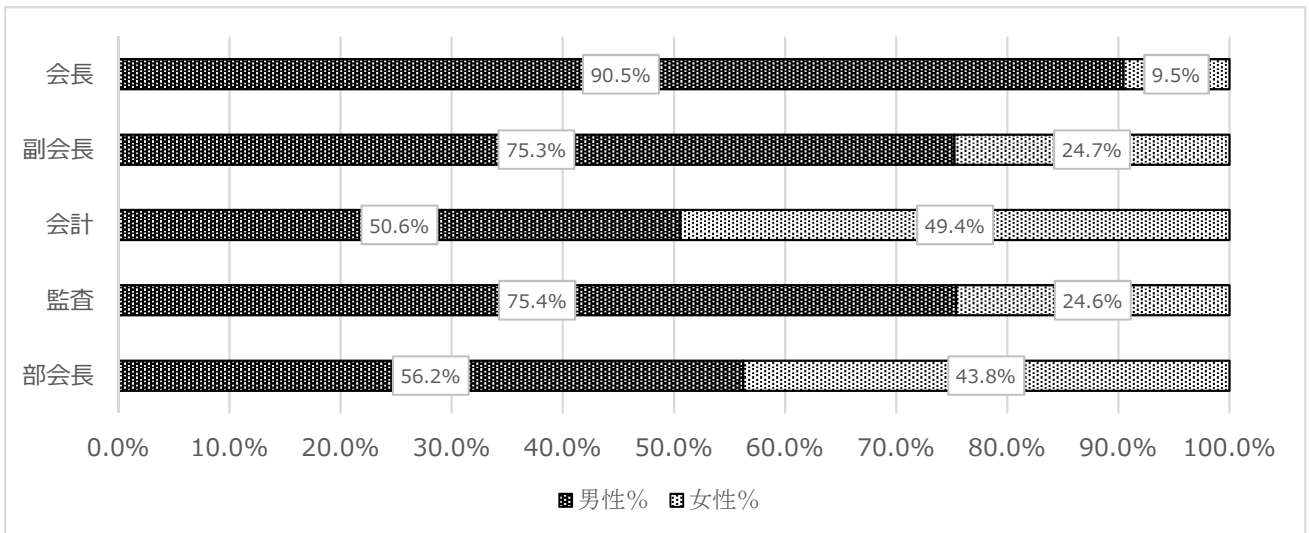
男性は「会長」「監査」「副会長」の割合が高く、女性は「会計」「部会長」の割合が高くなっています。選出方法は、どの役職においても「推薦」が最も多く、これに「互選」が続いています。

【第5次プランの目標値との比較】

第5次プランの目標値「町内会・自治会における女性役員（会長・副会長・部会長の合計）割合50%」は、34.7%と前回調査30.3%（平成28年）よりも約4ポイント上昇しましたが、目標値は未達でした。

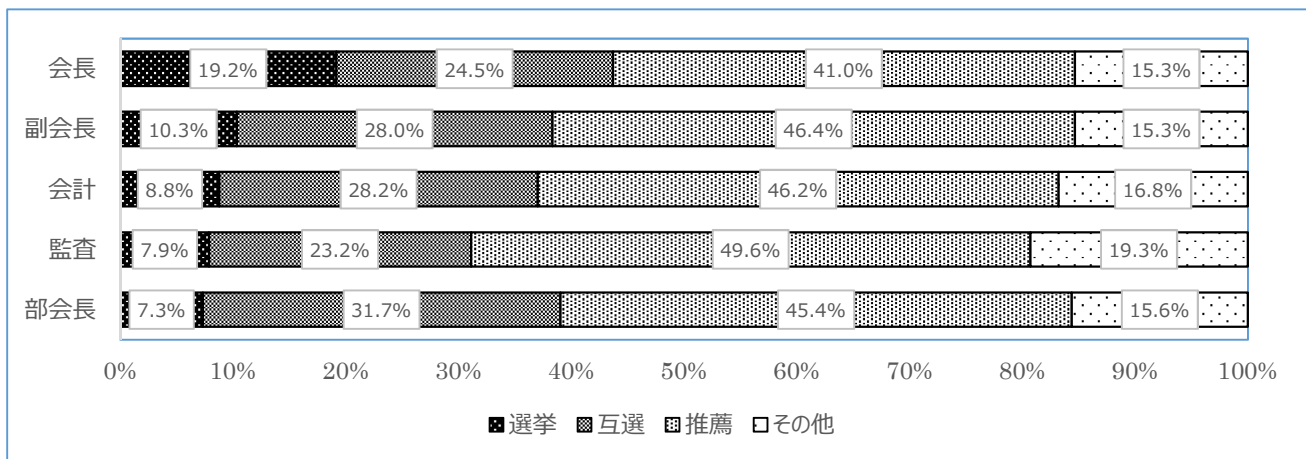
●役員性の性別

	男性人数 (%)	女性人数 (%)
会長	256 (90.5%)	27 (9.5%)
副会長	444 (75.3%)	146 (24.7%)
部会長	812 (56.2%)	632 (43.8%)
会計	212 (50.6%)	207 (49.4%)
監査	340 (75.4%)	111 (24.6%)



役員を選出

	選挙	互選	推薦	その他
会長	50 (19.2%)	64 (24.5%)	107 (41.0%)	40 (15.3%)
副会長	27 (10.3%)	73 (28.0%)	121 (46.4%)	40 (15.3%)
会計	23 (8.8%)	74 (28.2%)	121 (46.2%)	44 (16.8%)
監査	20 (7.9%)	59 (23.2%)	126 (49.6%)	49 (19.3%)
部会長	15 (7.3%)	65 (31.7%)	93 (45.4%)	32 (15.6%)

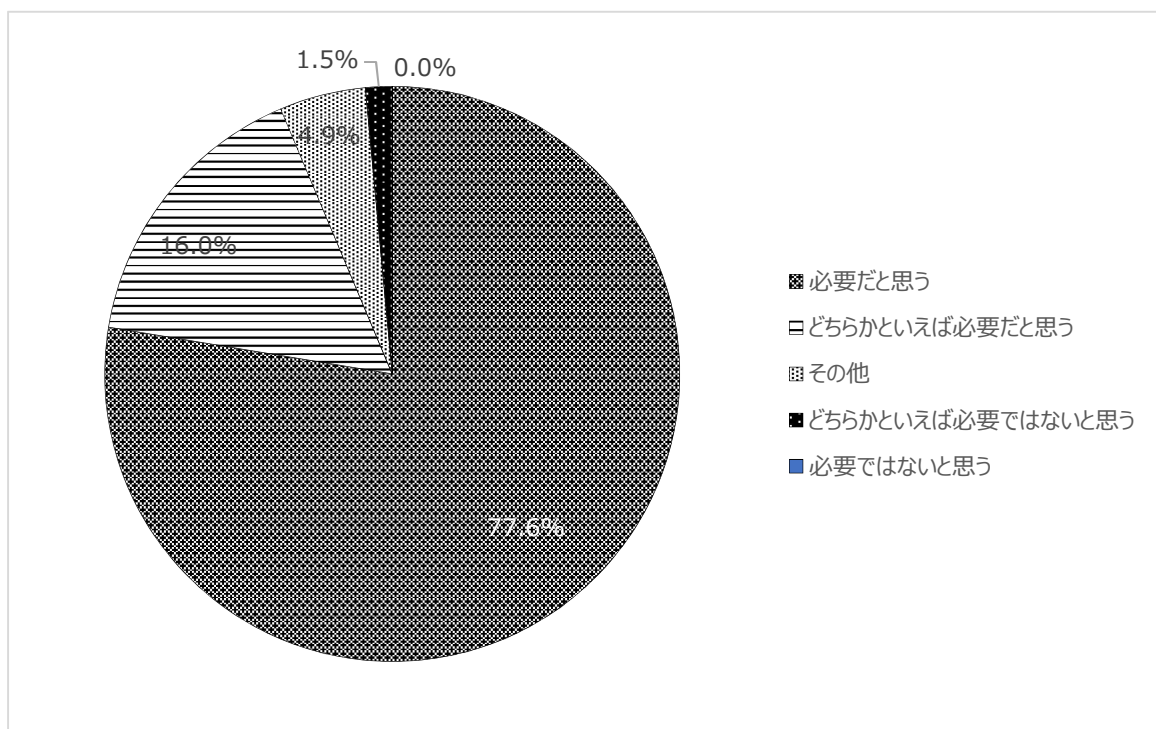


問3 役員などの地域の意思決定の場に積極的に女性が関わることについて、貴団体としてはどのように考えますか。

「必要だ」「どちらかといえば必要だ」と回答した町内会・自治会は、93.6%でした。

必要だ	208 団体
どちらかといえば必要だ	43 団体
その他（「特に気にしていない」など）	13 団体
どちらかといえば必要ではない	4 団体
必要ではない	0 団体

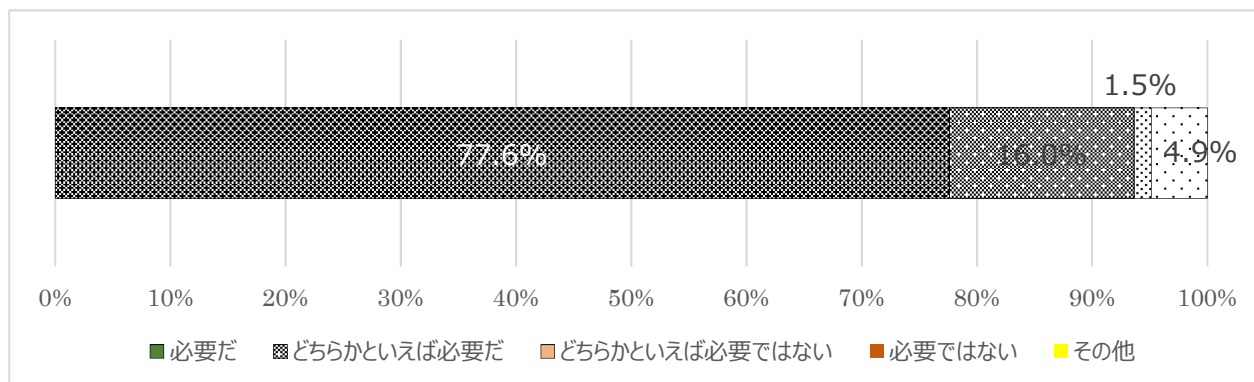
※「記入なし」 15 団体



町内会・自治会の役員等の活動に積極的に女性が関わることについて
(問2と問3のクロス集計)

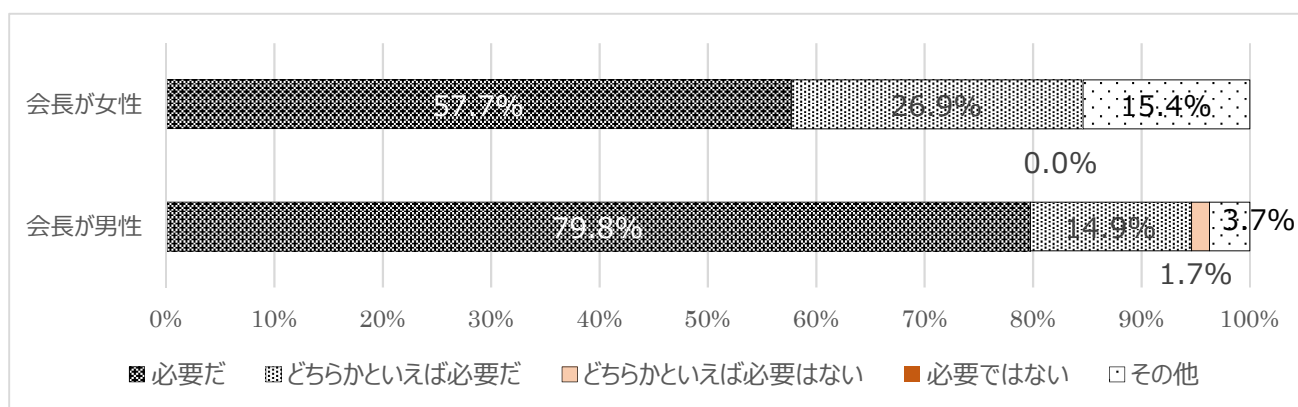
※問2、3のいずれか一方でも「記入なし」の回答は除く。

問3の結果からは、町内会・自治会の役員等の活動に積極的に女性が関わることに肯定的な意見は93.6%と高い割合となっている。

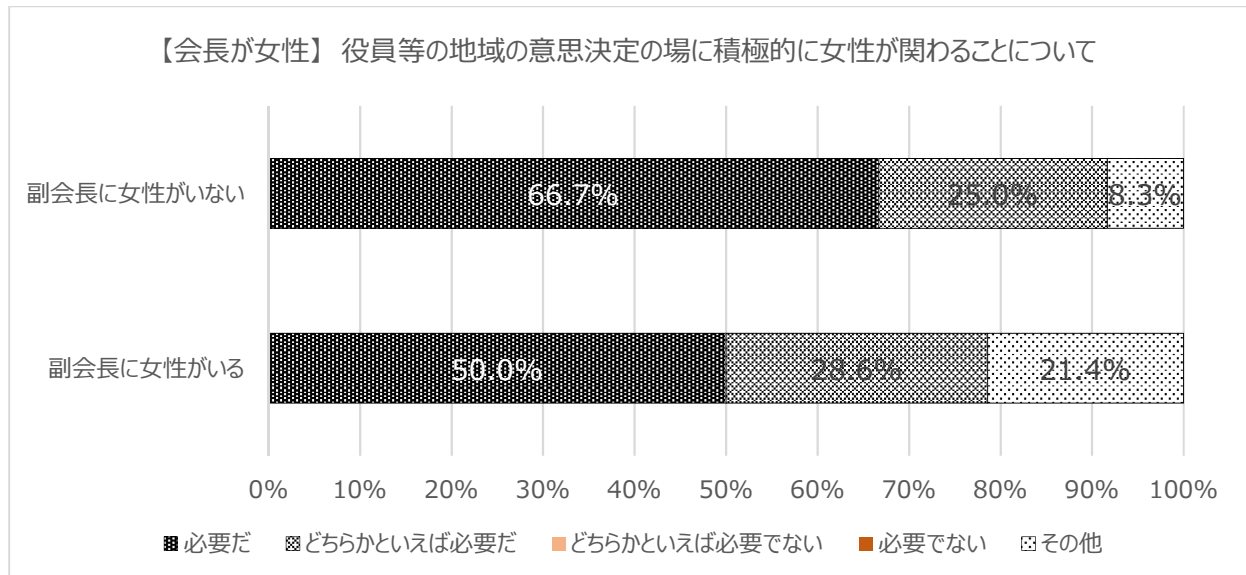


女性の関わりに肯定的な意見について、当該団体のリーダー（会長）の性別による違いについては、会長が女性である団体では「必要だ」「どちらかといえば必要だ」という肯定的意見は84.6%、会長が男性である団体では同じく肯定的意見は94.7%であった。

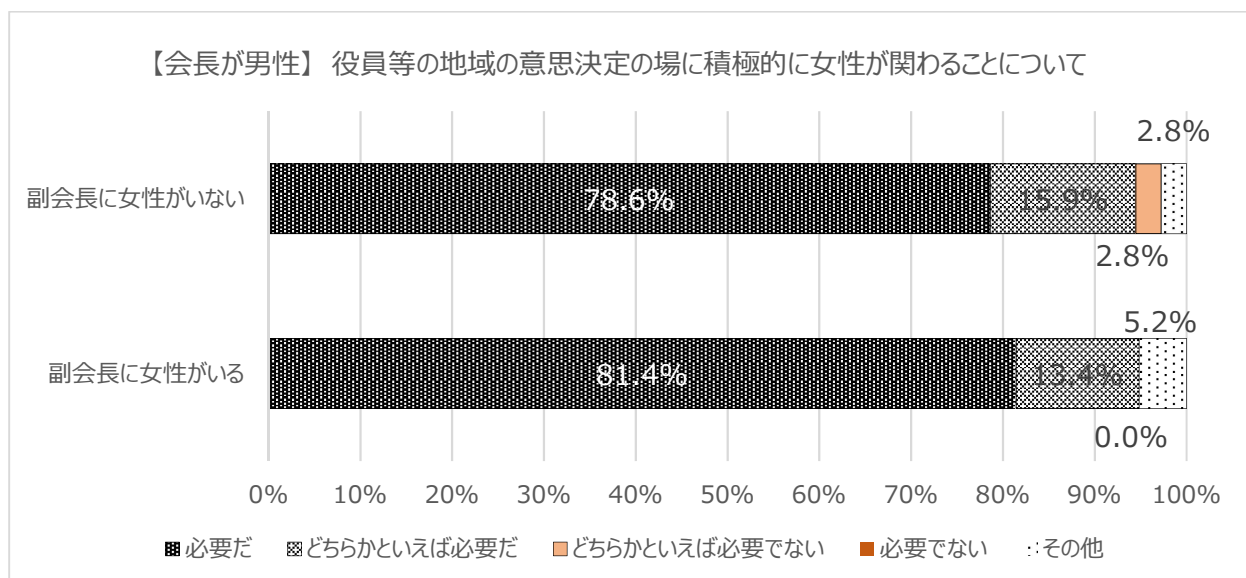
現在、会長が男性である団体については、会長自身が男性であることによるものか、積極的に女性が関わることに肯定的な意見が94.7%（必要だ79.8%+どちらかといえば必要だ14.9%）と高い割合を示している。一方、会長が女性である団体では、積極的に女性が関わることに肯定的な意見が84.6%（必要だ57.7%+どちらかといえば必要だ26.9%）と、会長が男性である団体と10ポイントの差が生じた。



さらに、副会長に女性がいる／いないという要素を加えると、会長が女性である団体で、かつ、副会長に女性がいる団体では肯定的な意見が 78.6%、会長が女性でかつ副会長に女性がいない団体では肯定的な意見が 91.7%という結果となった。



また、同様に会長が男性でかつ副会長に女性がいる団体では、肯定的な意見が 94.8%、会長が男性でかつ副会長に女性がいない団体では、肯定的な意見が 94.5%という結果となった。



会長が男性であるか／女性であるか、副会長に女性がいるか／いないかで見たところ、会長が女性であるかつ副会長に女性がいるグループにおいて、女性の積極的な関わりが必要であるという肯定的な意見が 78.6%と 4つのグループの中で一番小さい割合を示した（他の 3 グループは 90%超）。これは、会長や副会長にすでに女性が就任している（女性が積極的に関わっている）ことで、他のグループよりも割合が小さくなったものと考えられる。

問4 役員などの地域の意思決定の場に積極的に女性が関わることが必要だと考える理由をお書きください。

※問3「必要だ(208団体)」「どちらかといえば必要だ(43団体)」を選択した場合に回答。

- ・地域コミュニティの実情を反映した「役員に男女がいるのが自然」「女性の住人が多い」という理由が多く見受けられました。
- ・これまでの男性が中心な役割を果たしてきた流れに対して「多様な考え方、意見を、町内活動に取り入れたい」などの多様性の必要性を訴える意見も多く見られました。
- ・ジェンダーバイアスに繋がるような意見(「女性ならではの・・・」などの特性に言及した意見)も見受けられました。

問5 役員などの地域の意思決定の場に積極的に女性が関わることが必要ではないと考える理由をお書きください。

※問3「どちらかといえば必要ではない(4団体)」を選択した場合に回答。

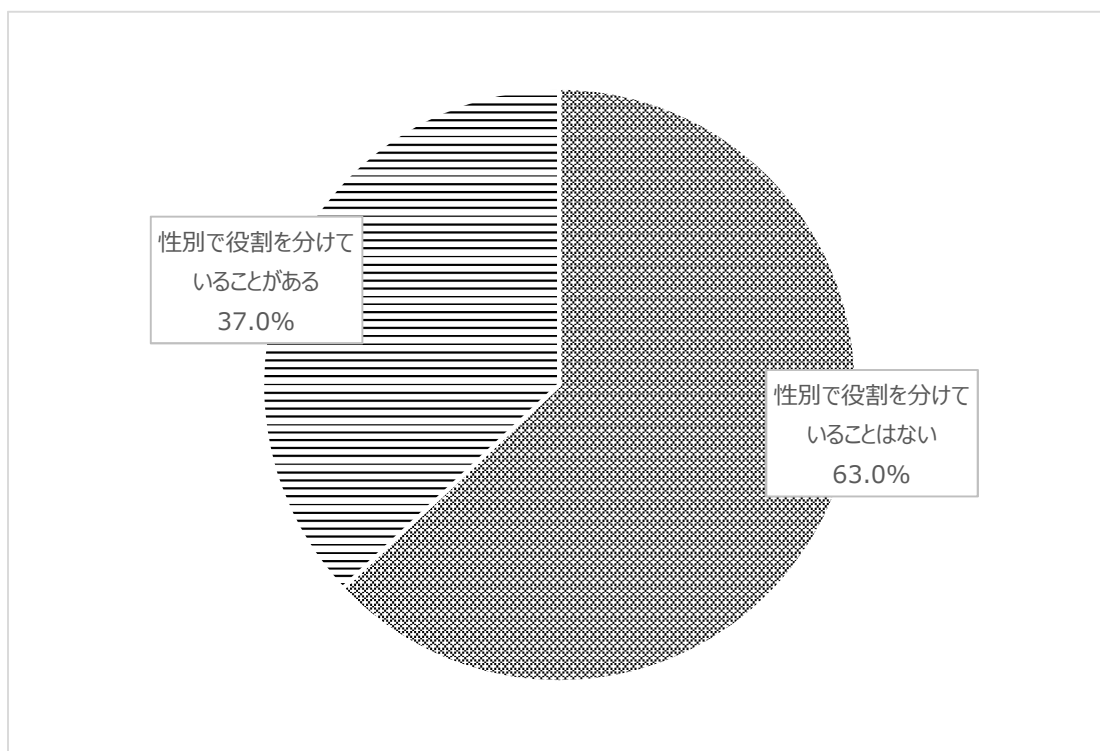
- ・町内の皆さんが同年配(高齢者)であり、体力、気力的な衰えもあり町内行事に対して、男女共に積極的な参加は難しくなっている。当分の間は従来 of 慣例に沿いたい。中には、女性の役員をと言った意見も有るが、役回りの回避を目的と思われる。
- ・女性軽視では無く、出来る人ならば誰でも参加してほしい。
- ・男性とは動ける時間差があるため
- ・必要な時は、役員の妻が出て来ているので。
(全4件を掲載)

問6 地域活動や行事の実施において、性別で役割を分けていることはありますか。

性別で役割を分けていることが「ない」と回答した町内会・自治会は63.0%でした。

ない	172 団体
ある	101 団体
記入なし	10 団体

※「記入なし」 10 団体

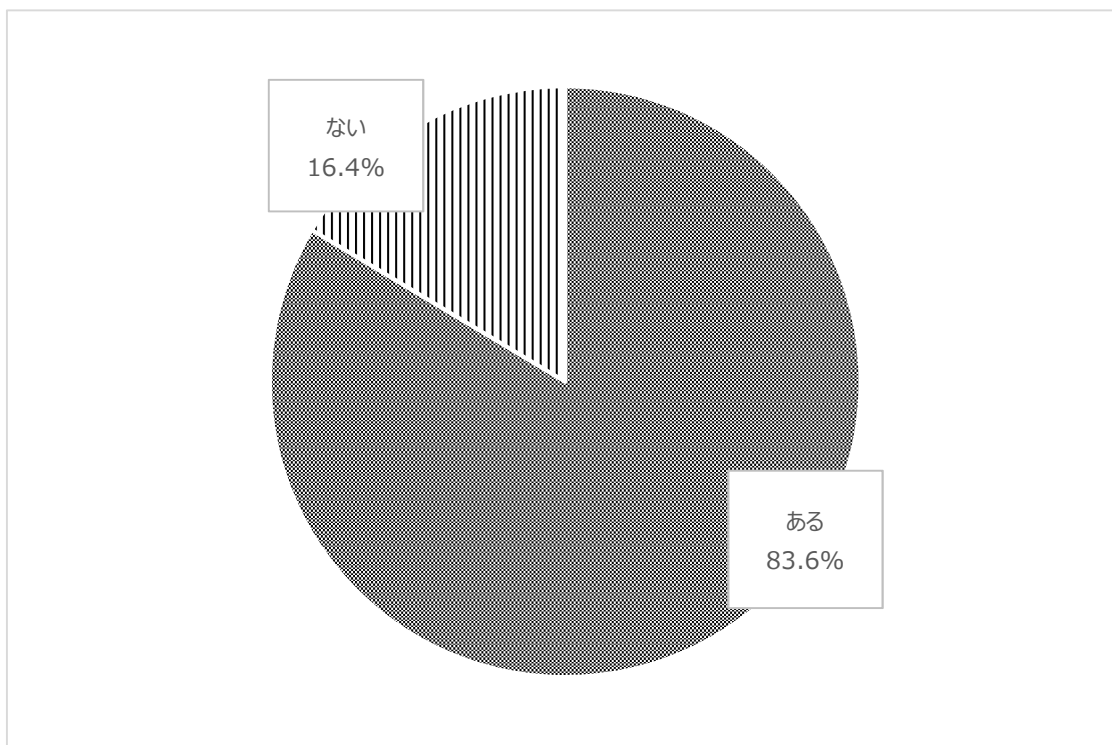


問7 地域活動や行事運営の意思決定の場面において、女性の関わる必要だと感じることはありますか。

行事運営などの場面で女性の関わりが必要だと回答した町内会・自治会は 83.6%でした。

ある	224 団体
ない	44 団体

※「記入なし」 15 団体



地域活動等の【意思決定の場面】と【活動実施の場面】での性別役割に関する意識について
 (問6と問7のクロス集計)

〔集計結果〕 ※問6、7のいずれか一方でも「記入なし」の回答は除く。

【意思決定の場面】で女性の参画が必要だと感じることもある団体では、60.1%の団体で【活動実施の場面】で性別によって役割を分けておらず、【意思決定の場面】で女性の参画が必要だと感じることはない団体では、76.7%の団体で【活動実施の場面】で性別によって役割を分けていない。

【意思決定の場面】で女性の参画が必要だと感じる／感じないにかかわらず、【活動実施の場面】では、性別により役割を分けていないと答える団体が60%を超える結果となっている。

	【活動実施の場面】 性別で役割を分けていることがある。	【活動実施の場面】 性別で役割を分けていない。
【意思決定の場面】 女性の参画が必要だと感じることもある。[218]	87 (39.9%)	131 (60.1%)

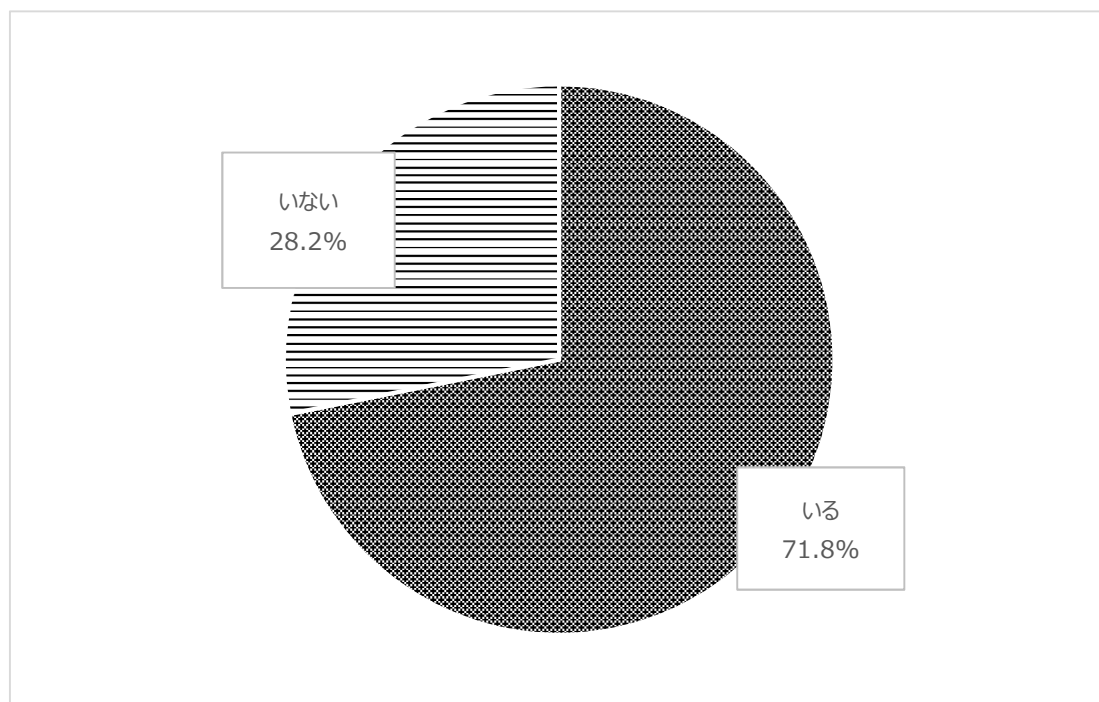
	【活動実施の場面】 性別で役割を分けていることがある。	【活動実施の場面】 性別で役割を分けていない。
【意思決定の場面】 女性の参画が必要だと感じることはない。[43]	10 (23.3%)	33 (76.7%)

問8 自主防災組織に女性役員（委員長、副委員長、班長など）はいますか。

自主防災組織に女性役員が「いる」と回答した町内会・自治会は71.8%でした。

いる	199 団体
いない	78 団体

※「記入なし」 6 団体。「該当組織がない」という回答は、「記入なし」に含む。

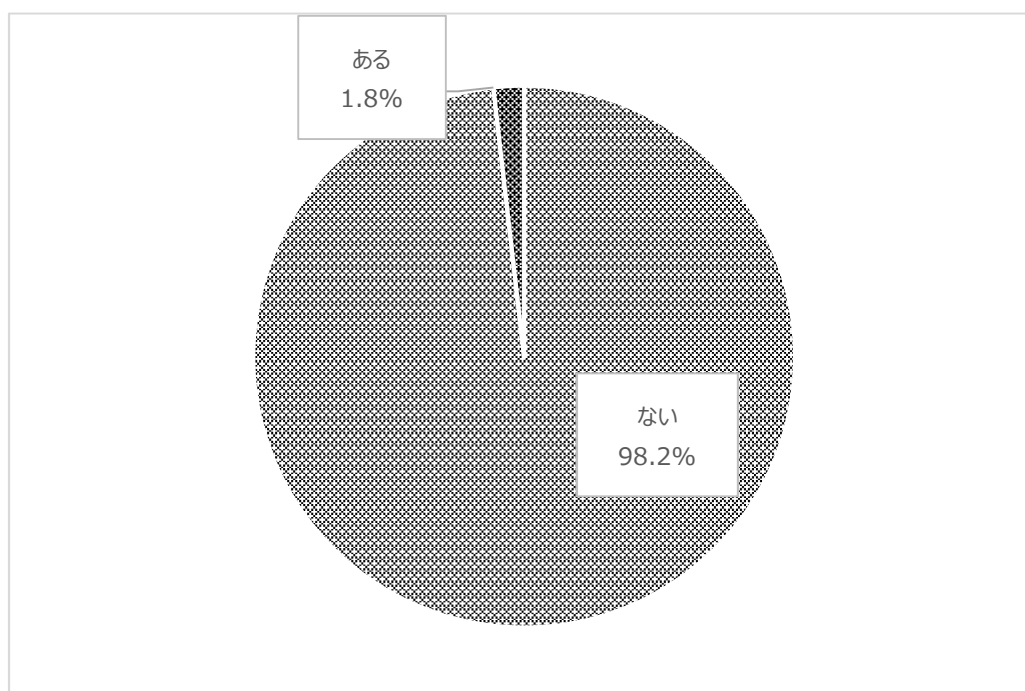


問9 町内会・自治会の会合等で、LGBT や多様な性について話題に上ったことがありますか。

LGBT や多様な性について会合等で話題に上ったことがあると回答した町内会・自治会は1.8%でした。

ない	271 団体
ある	5 団体

※「記入なし」 7 団体。「わからない」という回答は、「記入なし」に含む。

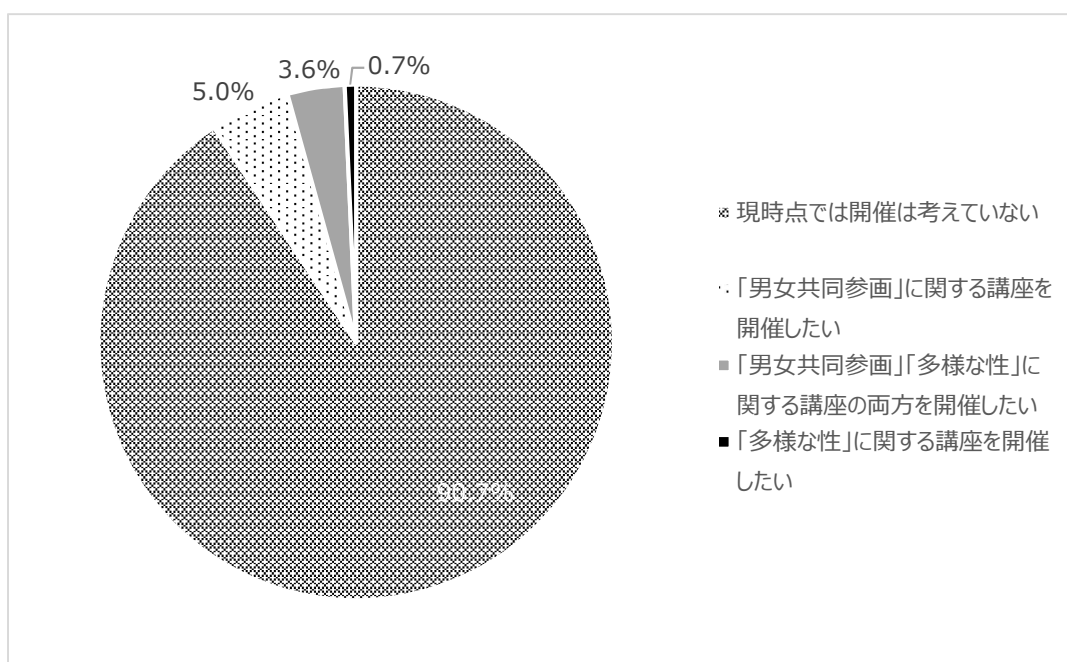


問10 「男女共同参画」や「多様な性」に関する講座について、貴団体としてはどのように考えていますか。

「男女共同参画」や「多様な性」に関する講座を開催したいと回答した町内会・自治会は9.3%でした。

現段階では開催は考えていない	254 団体
「男女共同参画」に関する講座を開催したい	14 団体
「男女共同参画」「多様な性」の両方の講座を開催したい	10 団体
「多様な性」に関する講座を開催したい	2 団体

※「記入なし」 3 団体



自由記入欄への記載内容

問3 「役員などの地域の意思決定の場に積極的に女性が関わることについて、貴団体としてはどのように考えますか。」の選択肢「5 その他」の記載内容

- ・役員少数の為、性別にこだわる事が無い。
- ・区別の必要がない
- ・男性や女性ではなく、人間性
- ・地域活動に関心があり、協力性があれば男女問わず、どちらでもよい
- ・女性が関わる事が当たり前の事になっている
- ・女性の役員がほとんどなので
- ・特に気にした事はない
- ・どちらでもよい
- ・既に女性が多数活躍している。

問4 役員などの地域の意思決定の場に積極的に女性が関わる必要があると考える理由

- ・自治会活動においてゴミ問題、イベント開催、防災活動 日常家庭で家事をしている女性の意見は必要
- ・地域人員の半数が女性であり、判断の公正、客観性確保の観点から、女性の意思は重要
- ・生活、活動に関わることに對しては圧倒的に女性の方が活発で、関与も大きい
- ・人口の半分は女性だから。各家庭の意思決定に女性の考えを大切にするので。
- ・女性の意見が反映されるため
- ・自治会運営上、ジェンダーとしての女性の視点が不可欠であるから。
- ・男性中心に思考に偏らないため
- ・きめ細かな自治会運営ができる。
- ・問題や行事など女性の目線で物ごとを見てくれる。
- ・町内会活動活性化の為には、多様な意見が必要と考えるため。
- ・男性視点では気がつかないことが多いので、女性の意見を聞くことは重要である。
- ・役員会等で女性的な考え、福祉の問題など偏りのない意見が欲しい時に大変参考になる。
- ・多方面に渡り、常に女性目線、視線は非常に重要と考えます。
- ・女性は実生活の基づいた意見を出せる。女性は協調的であり、楽しく活動できる。
- ・女性の目線からの意見等の反映は必要と思われるため
- ・女性ならではの配慮・気遣い。
- ・世の中、男と女、半々なものだから
- ・施策に多様な考え方が反映できる。
- ・日常的に町内会や、ゴミ問題等身近な懸案に接するのも女性の方々である事が多い
- ・広く意見を聞くには年齢性別は問わない事を当町内の基本としている。
- ・男性が日常の活動に参加できる方が限られており、むしろ女性の参画が望ましい。
- ・多様な考え方や意見を出して、活動方針を決める必要がある。
- ・自治会の円滑的遂行のためには女性の意見、考えが重要

- ・町内会の情報が増える、深まる
- ・男女平等で有ります。町内会組織みなおす予定です
- ・地域内の事情・実情などに女性はかなり詳しい
- ・女性が加わる事で会議などがなごやかに進められる
- ・女性でなければ気付かない問題点の提起が期待できる。
- ・子どもへの思いやりのある施策等の問題点の提起と解決法が見出せる。
- ・男性役員のみで意思決定した場合は女性の考え方が反映されにくい。
- ・町内運営において多数の意見を聞いて意思決定が大切で有り特に女性の意見が大切で有ると思っております
- ・女性ならではの視点から、町内活動に提言をいただける。
- ・住民の半分は女性であり、女性の意見や要望に答えられる活動でなければ継続できない
- ・当町内会では、女性の行動力、結束力が男性より上まわっている。
- ・女性の視点、女性ならではの気づきが運営に極めて必要
- ・高齢者対策、子供対策など女性が中心になっているから
- ・教育、生活など地域に根ざした体験を踏まえて発言されるため。
- ・女性の方が子供を介して地域とか、情報に詳しいと思われるから。
- ・女性特有の重要度・見方と考え方がある。
- ・男性だけでは思いつかないこともある。
- ・女性の視点、母親の視点などを自治会活動に役立てるため。
- ・性別にかぎらず、会員（町内住民）の構成バランスにあった、性別、世代、国籍で役員構成されるのが理想と考えます。
- ・男女に関係なく、適材適所に人事を行うことにより、組織力が強化できる。
- ・男女での視点が多様であり、多面的に物事をとらえる様、男女が関わることが大切
- ・女性の柔軟な発想の意見が聞ける。
- ・良好な地域社会の共同活動を行うのに必要です。
- ・男女平等の世の中、男のみの意見で原案をたてることはよくない。
- ・高齢者が多い為 福祉関係の活動が多くなる為
- ・女性からの視点を考慮する必要があるから。男性では分からないこともあるから。
- ・これまでも町内会の意表決定には男女の意見を統合して判断している。
- ・現代社会に於いて女性の意見はとっても重要視されても良いと思っているから。
- ・地域（町内会）の状況が良くわかっている。幅広い意見・考え方を聴くことができる。
- ・実質的に町内会活動をしている7～8割は女性です。女性の意見を無視することは考えられません。
- ・町内会行事は女性が関係している内容が多いため。児童部、婦人部など
- ・生活に密着しているのは女性であること
- ・生活に密着した内容を検討するには、女性の意見が重要である。
- ・女性ならではの着眼点、意見。元々男性の意見だけではダメだと思っている。
- ・女性は細かい事に気を使ってくれる
- ・高齢化する町内において活動計画等に女性の意見が役立ち知恵が出ると判断しています。
- ・女性の団体も多く幅広い意見を尊重し多くの女性に多数参加してもらうため。
- ・町内会会員の高齢化が進み、特に独居女性の会員が増えている。

- ・女性目線での見方が必要と思うから、例えば町内会の防災庫に「生理用品(ナプキン)と着替えの下着を入れる」「町内会館の建替の時は、女性用トイレを男性用と区別して使いやすくしてほしい。
- ・地域住民には女性も男性もいる女性からの視点や意見等が必要であることは当たり前
- ・特に理由はないが、様々な意見がでることは良いと思う
- ・人間社会は女性と男性とXジェンダーから成り立っております。当然社会を運営、形成するには女性としての視点からの考えや意見が必要であるからです。
- ・男性、女性の区別なく、あらゆる住民の参加が望ましいと考える。
- ・男性の仕事と思われているが、女性でも良い
- ・町内の女性会員の方々が、町内会に対し要望など男性役員より女性役員に提案するなど話し合い様です。
- ・性別による格差はなく、各人がそれぞれ得意な分野で力を発揮できる。
- ・女性ならではの視点で見つめる事が出来る。
- ・現実的に生活ベースが地域になっているのは女性が多い。
- ・女性ならではの目線、視点も地域内には必要と思う。
- ・男性役員が気づかない事について積極的に発言してくれるため
- ・町内には様々な年齢、立場の人が暮らしているため、今後は性別にかかわらず様々な方々の視点、特に今まで女性の意見の取入れが少なかったが今後は男女関係なく意見を取り入れ必要があると感じます。
- ・時代の変遷。“どちらかといえば”などの時代は過ぎ、数を決めて(一定の割合を定め)必ず充当すべき時代と考えられる為。
- ・女性の意見を自治会全体のバランスの取れた運営が出来る。
- ・女性ならではの視点、考え方を聞く事は重要と考える。
- ・男性と女性で町内会が構成されているので、積極的とか女性の考えが必要とかではなく、役員に男女がいるのが自然のかたちと考えます。
- ・町内会活動には女性目線が必要。優秀な方が多い。
- ・計画・実行には多くの方の意見交換が必要であり、男女相互の理解を深める上で不可欠
- ・女性から目線と考えが違ふと思うし、今は平等であると思う
- ・高齢化社会で当町内会は女性の一人暮らしの方が多いため、相談事は女性役員が良い
- ・男女が共に主体的に地域活動に参画することで、地域活性化につながっていくと思われる
- ・町内会行事を実施する為には女性の細やかな意見が必要
- ・女性ならではの細かい指摘や柔軟な対応等、和やかに運営実施するには必要だと思う。
- ・女性世帯の会員が多くなり、福祉活動など女性役員が必要となっている。
- ・現状意思決定がパターン化・形骸化している。これらを打破するうえで、女性の参画は不可欠と思っています。
- ・検討課題によって、男性とは異なる意見を持ち、実行内容等も詳細に指摘される。
- ・自治会活動、行事及び作業等に積極的に参加、行動していただける。
- ・男性、女性の区別の有無に関わらず、各々の意志を尊重する立場から役員全員の意思決定が必要
- ・政治経済活動全ての面で女性の活動が叫ばれている昨今、地域活動においては当然のことである。

- ・多様な考え方、意見を、町内活動に取り入れたい。
- ・少子高齢化が急速に進む中、女性の平均寿命が80才代へと進んでいる町内役員も女性比率を高める努力を進めたい。特に副会長に女性を起用したい。
- ・性別による、視点・関心事、重要と考える事が違うので。そういった意見を言える場所に女性が参加する事が大切だと思う。
- ・意見が片寄ってしまうと思うので色々な方々の意見が必要
- ・男女の意識差はなく、ヤル気のある女性に障害はない。
- ・若い方やいろいろの人の意見が地域の活性につながるから
- ・男性と女性では視点が異なる所があると思われる
- ・広い視野を以て決めるには女性に関わるべきである
- ・活動する際に、多くの人々の意見を参考にしたい。
- ・会員数（住民）が少なく、高齢化している為男性だけで役員を構成出来なくなっている。
- ・グループシンクの防止が期待できること、福祉や介護問題等での相談のしやすさ
- ・行事を実施する上で、実際に活動する人は女性が大半なので、女性の意見が反映されていないと、行事の遂行に支障を来す。
- ・議論の場で男性では通り越してしまうような場面で女性の視点がみえることがある
- ・地域活動に於いて女性の積極的な活動がささえている。
- ・町内の行事等、女性の助けが必要な事も多い、女性の意見も大事だと思う
- ・男女では関心事項に大きな相違があることも考えると、意思決定の場の男女均等は重要
- ・男性だけの意見では自治会内での問題解決にならない事が多い
- ・男性にはない考え方をたくさんもっている。(行事等で)
- ・当会の班長会は女性が多く、地域の情報がたくさん得られる。”
- ・女性どうし日常コミュニケーションが図られているので重要視しています。
- ・多様な考え方があって、それらが合意の上ですすめることが自治と思います。
- ・町内会の運営には様々な価値観を持っている方の参加が望ましく、老若男女様々な方がいらした方がいろいろな意見が出る。
- ・今の時代は能力があれば性別は問わない。
- ・特に、福祉、民生関連の事業推進には、女性部員の意見や助言が役に立つ
- ・地域の空気や意見を敏感に感じ取れるのは女性だから。
- ・サークル活動、子育て等、より地域に密接していると考えられる為。

問6 地域活動や行事の実施において、性別で役割を分けていること「具体的内容」

○主に男性の役割になっていることが多いこと

- ・体力が必要な場合は男
- ・防災訓練などの行事でテント張りなど
- ・イベントの設営（大荷物の運搬）は男性
- ・釜炊き、力作業
- ・会館の清掃時、外回りは男
- ・電気関係の仕事
- ・草刈りの時などの力仕事。

- ・公園清掃での機械の取扱い。
- ・夜間の防犯パトロール。
- ・交通安全指導
- ・もちつき大会でのもちつき
- ・現状、会長、副会長、行事運営、防災は男性
- ・盆踊りのやぐらを作ったり配線工事
- ・消火器・防犯灯の点検
- ・防犯体制（組織編制）誘導・炊出し等
- ・環境衛生部門
- ・「会長は家を代表する人」と考えている

○主に女性の役割になっていることが多いこと等

- ・クリーン活動
- ・女子協力員、祭りの食事等担当
- ・婦人部長という役職や婦人部が残っている
- ・女性部で各行事(町内、神社)において補助的な仕事がある
- ・飲食を伴う行事の場合は、その責任者はやはり女性に願する。
- ・調理・接遇は女性が主体的に担当している。
- ・会議の時のお茶出し
- ・まかない等は女性に依存する。
- ・婦人防災クラブは女性のみ
- ・婦人環境部
- ・いきいきサロンの計画
- ・例えば会館の清掃時、会館内は女としている。
- ・婦人消防隊
- ・高齢者の活動には女性役員の方が良いと思う。
- ・社会福祉推進委員会
- ・ごみダイエット推進員等は女性が多い
- ・福祉部主催の「ふれあいサロン」は参加の9割が女性
- ・総務部も昼間自由に動ける女性が良い。
- ・ごみの分別業務
- ・子供会などは、女性が役員をしている
- ・婦人部、ハロウィン等イベントの実施部隊は女性
- ・祭礼等の台所仕事
- ・もちつき大会でお米を研いだりあんこもち等をつくる作業

○その他記載事項

- ・大変な事は男性、女性は補佐

問6 地域活動や行事の実施において、性別で役割を「分けていることがない理由」

- ・知識の豊富さで分けている
- ・適材適所だと考えています
- ・一方に片寄らないよう考えた上での方策
- ・能力、特技を生かす
- ・参加可能な役員が各行事に自主参加している。
- ・男女同権なんて気にはしていないが、今の世の中なんにでも一緒に行っている。
- ・各委員会対応で活動している為。
- ・従来からの慣例による。
- ・選挙で選出するため
- ・適材適所で役に付いた結果
- ・市よりの依頼
- ・男女平等
- ・本人の意思にそって役割を決定している。
- ・過去の仕組みを継続している。今後は、どの役も男女いっしょを考えたい。
- ・分ける必要がない。
- ・出来る事は共働で
- ・日常的に慣れた人が多いため自然にそうなった

問7 地域活動や行事の実施において、女性のかかわることが必要な「具体例」

- ・福祉活動の実施、まつりの進め方
- ・小さい子の扱いナーシングなど
- ・祭りの計画など
- ・町内行事に女性の協力は欠かせない。
- ・特に防災関連の行事には不可欠と認識している。
- ・祭礼、納涼模擬店等
- ・食事を作る事は任せている
- ・広範囲に若手・主婦の立場で意見、考えを示せる
- ・民生委員など
- ・中学生との防災訓練時の炊出し準備等。
- ・ゴミ捨て問題、マナー問題など
- ・女性に関する防災対策
- ・福祉活動に関して
- ・町内行事等は女性の活躍の場が多いと思う
- ・高齢者対策、子供対策など意見、アイデアが豊富
- ・特に食事の提供、子供、老人の接遇に必要です。
- ・震災時避難場所の運営に女性の視点が必要
- ・納涼大会や餅つき大会等がある。

- ・お祭りや、ぼん踊り大会等
- ・こども担当の育成部 福祉部
- ・地域活動における情報量は女性が圧倒的に多いです。
- ・今回マスクの配布、消毒液の設置等ウイルス防止策を講じたが女性ならではの細部に渡る配慮があった。
- ・少年部の活動計画に気配りを感じます。
- ・運動会や公園での清掃活動等
- ・行事時の受け付け、買い物、準備等
- ・清掃作業等での休憩時間設定やお茶等の準備
- ・クリーン活動
- ・女性の参加増に継げる事が出来る
- ・盆踊り、鉢植え補習会等の行事
- ・夏祭り、餅つきなど調理など
- ・敬老の祝いの記念品決定
- ・対女性に接するときは女性がいい。
- ・有事に関しての知識が深い
- ・会館物品購入、女性の視点から意見に納得することが多い。
- ・現在広報、回覧、行事を含め女性が活動しないと取り組みができない。
- ・自主防災組織の役割分担や計画立案
- ・子供や高齢者と深くかかわっている。
- ・子どもの教育指導、行事を計画する時
- ・エレベーターへの消毒液設置など
- ・子供会などの役員
- ・防災会議や自治会館建て替えについての会議
- ・子供の活動やみこし活動でも男性だけでは無理
- ・わくわくサロン、納涼祭、もちつき大会等 飲食を伴う行事
- ・女性は当事者の視点で物事を判断することが多い。

調 査 用 紙

横須賀市男女共同参画と多様な性についての アンケート調査 調査票【町内会・自治会】

問1 はじめに貴町内会・自治会、回答される方についてお答えください。

団体名	_____町内会・自治会・その他（ _____ ）
町内会・自治会の規模 (世帯数)	1 50世帯未満 2 50世帯以上100世帯未満 3 100世帯以上200世帯未満 4 200世帯以上500世帯未満 5 500世帯以上1,000世帯未満 6 1,000世帯以上
調査票の回答をされた方 (○を付けてください)	性別＝ 男性 ・ 女性 ・ その他 ・ 無回答
	年代＝ 30 ・ 40 ・ 50 ・ 60 ・ 70 ・ 80 ・ 90 歳代

問2 役員の数等（令和3年8月1日現在）についてお答えください。

役職名	全体の人数	うち女性の人数	選出方法（○をつけてください）			
			選挙	互選	推薦	その他
会長	1人	人	1	2	3	4
副会長	人	人	1	2	3	4
会計	人	人	1	2	3	4
監査	人	人	1	2	3	4
部会長	人	人	1	2	3	4

**問3 役員などの地域の意思決定の場に積極的に女性が関わることについて、
貴団体としてはどのように考えますか。あてはまる番号1つに○を付けてください。**

- 1 必要だと思う⇒問4にお進みください。(問4の次は問6以降へ)
- 2 どちらかといえば必要だと思う⇒問4にお進みください。(問4の次は問6以降へ)
- 3 どちらかといえば必要ではないと思う⇒問5にお進みください(問5の次は問6以降へ)
- 4 必要ではないと思う ⇒問5にお進みください。(問5の次は問6以降へ)
- 5 その他（ _____ ）⇒問6以降にお進みください。

**問4 役員などの地域の意思決定の場に積極的に女性が関わることが
必要だと考える理由をお書きください。(問3で1,2を回答された方)**

(自由記述)

問5 役員などの地域の意思決定の場に積極的に女性が関わることが必要ではないと考える理由をお書きください。(問3で3,4を回答された方)

(自由記述)

問6 地域活動や行事の実施において、性別で役割を分けていることはありますか。ある場合は具体的な内容と理由を、ない場合も理由をそれぞれお書きください。
例) ある→防犯パトロールは男性が担当している

- 1 性別で役割を分けていることがある
→具体的には、
→理由は
- 2 性別で役割を分けていることはない。
→理由は

問7 地域活動や行事運営の意思決定の場面において、女性の関わることが必要だと感じることはありますか。

- 1 ある (具体的には、)
- 2 ない

問8 自主防災組織に女性役員(委員長、副委員長、班長など)はいますか。

- 1 いる
- 2 いない

問9 町内会・自治会の会合等で、LGBTや性の多様性について話題にあがったことがありますか？ある場合は、内容をご記入ください。

- 1 ある→内容()
- 2 ない

問10 「男女共同参画」や「多様な性」に関する講座(出前トークなど)について、貴団体としてはどのように考えていますか。
あてはまる番号1つに○を付けてください。

- 1 「男女共同参画」に関する講座の両方を開催したい。
- 2 「多様な性」に関する講座を開催したい。
- 3 「男女共同参画」や「多様な性」に関する講座の両方を開催したい。
- 4 現時点では開催は考えていない。

お忙しいところ、ご協力いただきありがとうございました。

なお、大変恐縮ではありますが、同封の返信用封筒により8月31日(火)までにご投函いただきますようお願いいたします。